

れんぎ  
認定特定非営利活動法人 日本雲南<sup>れんぎ</sup> 友誼協会

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1階  
Tel:03-5206-5260 Fax:03-5206-5261

Email:yunnan@jyfa.org URL:http://www.jyfa.org/

【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室  
Tel.+86-871-63311468 Fax.+86-871-63320658

f http://www.facebook.com/NPO.JYFA @jyfa

ブログ 雲南の郵便屋さん 検索

編集・発行人 初鹿野 恵蘭

印刷協力 昭和情報プロセス(株) (株)技術評論社 / デザイン Hope Company



Japan Yunnan  
Friendship Association

# 彩雲の南

## 第80号

会報

発行日 2022年(令和4年)5月15日

## 50の小学校プロジェクト 第18校目の日中友好清平小学校から 桜の便りが届きました

標高の高い雲南に“桜”が根付くのは難しいと言われていますが、協会支援小学校、臨滄市双江自治県大文郷清平小学校(以下清平小)に協会からの愛情がこもった桜が根を下ろしています。

1988年の大地震で清平小は大きな被害を受けました。電灯一つだけの教室は暗く、生徒の目が悪くなるので毎週席替えしていました。九州大学名誉教授・樋口忠治さんなど協会支援者がこの状況に心を痛み、「50の小学校プロジェクト」の18校目として清平小を建て替えることにしました。2009年4月20日、1年の工期を経て開校式を迎え、日中友好のシンボルとして記念に桜を植えました。それから13年が経ち、清平小から先日、感謝の気持ちを込めた桜の便りが届きました。以下は、清平小からの手紙と桜満開の校庭の写真です。



今や地区のシンボルとして大切に守られています



日中友好清平小学校開校式 2009年4月20日

イ族2人、プーラン族4人、白族5人)です。女子53人、男子69人で、寄宿生は72人、教職員は11人です。

校舎の改築後、教職員と生徒は一所懸命



樋口先生が植樹

に頑張っています。2011年9月郷レベルの「先進集団」と認められて以降、同年12月に県レベルの「文明单位」に、2012年12月に学校が市レベルの「文明单位」になりました。また、2015年9月に学校は郷レベルの「教学先進集団」となり、同年10月に県レベルの「平安校庭」、同年12月に市レ



見事な花を咲かせた「友好のさくら」



明るい校舎で勉強

雲南省臨滄市双江自治県大文郷清平完小学校(以下、清平完小)は1952年創立で70年の歴史があります。2008年、日本雲南友誼協会から58万2900元(現在のレートで1,116万円)の支援をいただき、809平方メートルの校舎、事務棟、食堂を改築しました。

清平完小は村レベルの半寄宿制学校です。現在、幼稚園1クラスを含む7クラスがあり、幼稚園児23人を含め122人の生徒がいます。少数民族は63人(ラフ族52人、

ベルの「文明单位」になりました。さらに、2017年7月には市レベルの「平安校庭」、2018年12月には市レベルの「文明校庭」に選ばれました。(中国の行政レベルは市>県>郷>村)学校がこのような成果を収められたのは、行政からの関心とともに、日本雲南友誼協会の思いやりがあったからにはほかありません。皆さんが広く快適な教育環境を与えてくださったおかげです。われわれはいままでどおり学校の施設を大切

にしていきます。特に協会から改築していただいた校舎、事務棟、食堂を大切に、子どもたちに感謝の気持ちを教え、協会の皆さまの助けを心に刻み、学習に努力します。良い成績で恩返しできるよう努めます。

最後に日本雲南友誼協会の方々、教師生徒ともども心より厚くお礼を申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。是非学校を見にいらしてください。

清平完小学校一同



## 「25の小さな夢基金」 日中国交正常化50周年記念事業 第3回愛知県立津島高等学校&雲南省高校オンライン交流会

桜と椿の蕾が共に咲き、コロナ禍でも  
オンラインで相互理解が深まる

5月20日(「25の小さな夢基金」で支援する春蓄生が在籍する昆明市女子中学と愛知県立津島高等学校)にゲストとして参加した呉雨桐さんから参加の感想文が届きました。

私は呉雨桐と申します。私は中国の華東師範大学の修士課程を卒業して今年5月に東京大学の大学院研究生に在籍することになりました。協会から高校生の交流会に参加してみないかと声掛けられて、協会の東京本部でオンラインにて交流会に参加することになりました。

三回目にあたるオンライン交流会は各校10名の生徒が参加し、中日両国の伝統節句をめぐって話し合う場でした。交流の場を見て様々なことに気づきました。

第一に、電子マネーなどの発展を垣間見る新しい習慣の理解が深まりました。春節、



初めて参加する生徒は国旗で歓迎!

中国の子供たちへのお年玉は現金ではなく、キャッシュレス化が進んでいることに日本の生徒たちはびっくりしていました。また、「5.20」の日は中国語の語呂合わせで「あなたに愛している」と紹介し、両国の女子生徒の女心が通う瞬間でした。

第二に、50年間の日中交流によりある程度お互いの文化は理解しています。日本の生徒が「年末年始」「お盆」「ひな祭り」「鯉のぼり」を紹介するにあたり、色とりどりの写真を使って臨場感があふれるプレゼンテーションをしました。日本の家庭には仏



画面越しでも熱烈に笑顔の挨拶!

壇があると行ったときに中国の学生は日本の独特な文化にびっくりしていました。

また、中国の学生は民族衣装を身に纏い、イ族の伝統行事「松明祭り」(五穀豊穡を祈り、火で害虫を追い払う夏の祭り)を紹介することでリアルな民族祭りの雰囲気再現してくれました。

第三に、英語を中心として交流を行っているため、学校で学んだ英語を実際使うことができ、英語学習のモチベーションを向上することができます。アクティブラーニングの効果も抜群だと思います。



第四に、交流のためにPPTなどを準備して、いかにもわかりやすく、面白くするかを工夫することによって問題解決能力にも役に立ったと思います。

言葉も習慣も異なる両国の生徒が協会によって一つ



指導の先生や協会事務局もオンライン参加

となり交流を深めています。日中若者たちの交流を拡大し将来の日中友好に貢献したい姿勢に感心しました。

呉雨桐(昆明市出身、東京大学大学院研究生)



# 「25の小さな夢基金」2021 雲南省少数民族児童教育支援チャリティーゴルフコンペ 新たに5名の女子高生支援決定



和潤梅さん ナシ族 麗江市出身  
左若蘭さん アチャン族 大理市出身  
李小婷さん デアン族 徳宏タイ族チンポー族自治州出身  
玉翠亮さん タイ族 シーサンパンナ・タイ族自治州出身  
陶敏さん 漢族 昭通市出身

「雲南省少数民族貧困児童教育支援チャリティーゴルフコンペ」では、楽しくスコアを競いながら、支援活動へのご寄付をいただいています。昨年11月の第16回大会でも、たくさんのご寄付をいただき、「25の小さな夢基金」生徒5名を支援できました。当コンペにて支援した生徒は36名になりました。参加者の皆様に心より御礼申し上げます。

## 「25の小さな夢基金」日本の皆さんお元気ですか？ 私たちはコロナに負けず頑張っています

コロナ禍を心配する「25の小さな夢基金」里親サポーターや支援者の皆さんに、昆明からお便りと写真が届きました。同基金の呉永燦さん(高等部2年2組、漢族、2020年入学)がコロナ禍の学校での暮らしぶりを書いてくれました。また、陶麗麗さん(高等部2年1組、漢族)は協会の支援を受けていませんが、協会活動に積極的に参加しています。手紙と写真を通じて、頑張る彼女たちの姿をご覧ください。

### 雲南支援生徒のレポート② コロナ禍に責任の重さ感じる

### 雲南支援生徒のレポート① 雨もいつか晴れ、希望の虹がかかるはず

太陽は暗雲を突き破り、世の中を隅々まで照らす —— 呉永燦さん(2年、漢族)

コロナは人と人の交流を妨げています。しかし、心と心の絆は切り離せません。学校が閉鎖されている間、外出が制限されました。でも、学校の先生と友達の温かい慰めに励まされてきました。地理の先生が住む地域でクラスターが発生し、出勤できませんでした。同僚の先生方は「お大事に、生徒たちは我々が守ります」と、地理の先生の代わりに一所懸命に働きました。警備員のおじさんは朝早くから夜遅くまで、人と物資の出入りを厳しく監督してくれました。掃除のおばさんたちは学校の隅々まで定期的に消毒、掃除し、安全な学習環境にしてくれました。みなさんの



左から 李秋敏(2年、ペー族)、呉永燦(2年、漢族)

努力のおかげで、清潔な環境で勉学に励むことができました。また、勉強が計画通りに進まず、精神的に悩んだ時期もありました。校長先生たちはすぐ私たちの悩みを察し、心理カウンセラーの先生を手配してくださいました。カウンセラーの先生のもとで安心して心身健康になりました。学校は安全な港で、私は港の小さな船です。私たちがコロナ禍の荒波を乗り越えるため、先生方は献身的に私たちを導いてくれます。私たちはコロナと戦い、収束を迎える日が来ると信じています。私たちは確信しています。「勝利は目の前にあると・・・」



### 命は泰山より尊し —— 陶麗麗さん

新型コロナウイルスが発生してから2年半の歳月が経とうとしています。いままわりはコロナ感染者が後を絶ちませんが、学校は積極的に蔓延防止に取り組み、安心できる学習環境づくりに努めています。

学校では体育と食事以外、マスクは必須です。食堂で並ぶ時もソーシャルディスタンスを厳守し、検温は一日に3回しています。夜の自習時間が終わってからキャンパスを消毒し、インフルエンザの予防もしています。

学校閉鎖の間、私たちは厳しい感染予防だけでなく、身体を鍛えて感染の可能性を下



陶麗麗さん(右)

げるよう努めました。メイキャップ部、バスケットボール部、書道部などのサークル活動のほか、体育では縄跳び、バドミントン、チアダンス、武術体操などをしました。青春の思い出の1ページになりました。スポーツ大会では、ゴールの度に歓声がグラウンドに響き、コロナのストレスを一気に吹き飛ばしました。「命は泰山より尊し」(中国語: 生命重于泰山)。コロナとの戦いは使命です。この時代を生きる若者として、責任感を持って身の周りのことをしっかりやりたいです。そして、ともに明るい未来を迎えましょう。



## こんにちはCSR

—協会を支えてくださる協力企業からのメッセージ—

第30回 ● わかば 歯科クリニック  
伊豆半島の付け根、函南町で開業する「わかば歯科クリニック」様。地域住民の歯の健康を守る医院として活躍されており、浅井院長にお話を伺いました。



概要  
診療時間: 午前7:50~12:00 / 午後14:00~18:00  
休日: 日曜日・祝日・木曜日  
所在地: 〒419-0123 静岡県田方郡函南町間宮 63-3  
電話: 055-944-6402  
※専用駐車場7台あり  
<https://wakabashika-kannami.com/>

「わかば歯科クリニック」は、2015年開業の建物もまだ新しく、街でもひときわ目立つお洒落な建物の歯科医院です。奥様の浅井怜さん(旧姓・七田)は、協会初期の職員として7年間に渡り数々の教育支援プロジェクトでご活躍され退職後は、旦那さまと一緒に、開業した歯科クリニックを支えられています。クリニックには、ご夫婦の他に非常勤の歯科医師2名、歯科衛生士6名と受付、そして保育士が在籍し



ているのがめずらしく、小さいお子様連れのお母さんから高齢の方まで多くの方が来院される明るい活気のある歯科クリニックです。浅井院長は地域住民の口の健康を考え乳幼児期から生涯にわたり健康な口腔内でいられるようサポートしたいと思い開業され、口は命の入り口であり、口の健康が全身的な健康につながることで、歯科医療を通じて健康長寿に寄与することに大きなやりがいと使命感を感じているとのこと。また、行政や多職種と連携して地域住民へのお口を通した健康づくりに関わり、医療資源を充実させることで住民が安心して過ごせるような「まちづくり」にも貢献していきたいと語りました。浅井院長は協会の「25の小さな夢基金」へ



これまでに3名の生徒を支援していただきました。協会の活動について「コロナ禍でマスク不足の際には、協会を通じて雲南からのマスクの支援を受け取りました。どちらかからの一方的な支援ではなく、日本と雲南双方の思いやりが感じられる交流がされているのがすばらしいと思います。支援活動は、20年前から時代の流れと共に絶えず変わり続けてきましたね。歯科医療も同じように日々進歩していて、20年前とは技術も考え方も大きく変わっています。分野は違えど、その地域に密着して貢献していきたい思いは協会と同じだと思っています。今後20年の協会の活動にも大いに期待して、本当に微力ですがサポートしていきたいです」とさわやかに語られていました。

※CSR=Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任) : 利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもつこと



日中国交正常化50周年記念事業

# 日中若者旋風! 2年ぶりの国際交流イベント参加

## Oneasia FES 2022 日中文化交流フェスティバル

### 让我们以舞会友、快乐的交流



▲初日ボランティア大集合!



▲ステージで少数民族舞踊を披露



▲少数民族衣装の「雲裳少女」

協会初参加となる、日中国交正常化 50 周年記念「ONEASIA FES2022 フェスティバル」が 4 月 9～10 日、池袋西口公園「グローバルリングシアター」で開催されました。コロナ禍の影響により、この 2 年間様々なイベントが中止となる中、約 2 年半ぶりのイベントに日中の若者ボランティアが延べ 50 名以上集結、会場で元気で華やかなパフォーマンスと笑顔を振りまいた 2 日間となりました。本番当日、ボランティアの皆さんは朝早くから池袋に駆け付けていただき、初日、ステージでは少数民族舞踊 (2 曲) を披露、



▲福田元総理が来訪

来場者に協会の活動をアピールなど、若者パワーを発揮し大活躍! それぞれ雲南のカラフルな少数民族衣装を着て会場を巡回し、来場者と記念撮影するなど積極的な交流に、来場者の皆様楽しんでいただけました。今後、協会では、青年ボランティアを中心に、積極的に様々なイベントで楽しい日中交流を通じた雲南省の教育支援を広める活動を行ってまいりますので、是非、会員の方々や、楽しそうな活動だと思われる方へ、ご参加をお待ちしております。



▲いつもボランティアありがとうございます

▼心地よい日差しが会場を優しく包む

▼この日デビューのアイドルグループ「雲裳少女」と一緒に



▲協会小松顧問と一緒に青年交流ワークショップも開催

4月10日(日)14:30～15:30  
「雲南省における青年交流」  
講師: 認定NPO法人日本雲南聯誼協会

ボランティア  
高曼娥さん



今回のイベントで、私は初めて外国で中国出身の仲間の温かみを感じました。みんな情熱にあふれ、一緒に踊ると、まるで子供の頃に戻ったような楽しい雰囲気でした。海外で初めて少数民族としての誇りを感じる事ができました。

現在、経済発展や時代の影響で、中国でも多くの若者が都市に集まり、民族文化から遠ざかりつつあります。多くの若者は民族語さえ話せず、民族特有の刺繍の技術もほとんど知りません。民族のものは世界のものであり、我々はそれを受け継ぎ、継承していくべきだと思います。

会場では、国籍を問わず、少数民族の衣装に興味を持つ若い人たちがたくさんいて、私も喜んで自分の故郷や少数民族の文化を伝えました。

将来的には、もっと大勢の若者が参加してくれるよう期待しています。「小さな火花でも広野を焼き尽くすことができる」(星星之火, 可以燎原) ので、高原に光が差し込むように、あなたの力を貸してください。

中国河北省出身で東京都在住の明治大学在学中ボランティア  
崔蘇丁さん

日本雲南聯誼協会のボランティアとして「ONEASIA FES2022」に参加しました。コロナ禍でさまざまなイベントが中止される中、雲南の貧しい子どもたちの未来のために、みんな一生懸命頑張りました。人として最高の幸せは、誰かに愛されることです。ボランティア活動を通じて私も雲南の子ども達に関心を持ち、愛情が芽生えました。今回の活動は青春の1ページを飾ってくれました。

また、華やかな民族衣装を着てみんなと少数民族舞踊を踊り、本当に楽しかったです。イベントを通じて、中国に対する理解が深まり、世界が一つになった気がします。雲南の文化を理解してくれる人が一人でも増えたのなら、私たちの努力も報われ、目標を達成できたと思います。

ボランティア  
横山竜之介さん

今回ボランティアに参加させていただき有難うございました。

以前中国に住んでいたことがあり、中国の文化や民族衣装に興味があったのが参加したきっかけです。

綺麗な色使いで鮮やかな模様、手作業で細かく施された刺繍。女性用は全て美しく、男性用は力強かつこい。ボランティアに参加して実物を手に取り、実際に着用できました。皆さんと一緒にダンスも披露できてとても楽しく、中国人の友人も増え嬉しかったです。もっと多くの日本人に中国の良さを知ってほしいと思いますし、ボランティアを長年続けている理事長や協会の皆さんは、本当に素晴らしいと感激しています。機会がありましたら是非また参加させていただきたいです。

ボランティア  
岸川佳代さん

晴天の中、一つの空間に数々の出展ブースやアーティストのパフォーマンスがあり、沢山の素晴らしい文化に触れることができました。

私は雲南省の色彩鮮やかな民族衣装を身にまとい、少数民族のダンスを披露させていただきました。練習の時から多くの在日中国人と交流し、私自身の交際の輪を広げることが出来ました。また、フェスティバルのお客様にパフォーマンスを通じて雲南の文化をお届けし、知ってもらえる事ができて嬉しかったです! 日中国交正常化 50 周年の今年、こうしたイベントがあったからこそ、新たな出会いと学びが生まれたのだと思います。日中友好のため、今後も積極的にイベントに参加したいです。



# コロナ禍の中、雲南への帰国レポート

協会昆明代表処の徐芸です。中国に戻ることにになり、3月末に日本を出発、3週間の隔離を経て、4月下旬ようやく日常に戻ることができました。その苦難の道程をお伝えします。

- 中国への入国前 (PCR検査)  
中国の入国規定により、渡航7日前に異なる検査機関で3回PCR検査を受けました。搭乗前日20時までにWECHAT (LINEと同様の携帯アプリ) で検査結果を提出すると、国際健康グリーンカードが発行されました。これが無いと入国できません。
- 機内成田-深圳  
通常の機内サービスはなく、機内食は小さいパン一つと500CCペットボトルの水でした。成田を出て深圳まで5時間余りかかるので、



すごくおながが空きました。搭乗する前に食べ物を用意しておけばよかったと激しく後悔。

- 深圳空港到着  
まずは全身消毒の洗礼 (荷物も)、完了後は隔離された状態のまま携帯電話で入国手続きを行い、通知や説明も一切ないまま乗客は集団でバスで隔離場所に向かいました。
- 集中隔离  
空腹のまま到着した隔離場所は大学の施設を改造したホテルでした。水28本とトイレトペーパーを一括支給され掃除は自分で、食事は3食全でお弁当で部屋食 (出前禁止) になり、隔離の2週間は一步も部屋からは出られない生活でした。14日間の隔離費用は全て自前で一日400元、14日分一括払いで、5,600元 (日本円で106,000円)、とても辛い2週間でした。
- 更に昆明で隔離



2週間の隔離が終わり昆明への移動も隔離バスで深圳空港に向かいまし



## ご挨拶

今年の4月より日本雲南聯誼協会昆明代表処の職員として働くことになった徐芸と申します。雲南出身で、故郷に強い愛着を持っています。



2017年に協会の仕事を手伝い、非常に有意義な仕事であることを実感しました。初鹿野恵蘭理事長と東京本部の皆と共に、日本と中国、日本と雲南の絆として友好交流に尽力してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

た。とにかく、この先の説明を誰もしてくれないので、自分がどこに向かっているのかも分からないまま、気が付くと昆明空港に到着していました。ようやく自宅に戻りましたが、1週間の自宅隔離。私の場合地区の受け入れ承諾があったので、自宅でしたが、拒否された場合、ホテルでの待機となるそうです。この3週間はどれほど不安で大変だったか、早く制限が解除されることを心より願っています。

## 日中国交正常化50周年記念事業 雲南省総合展示会開催のお知らせ!

# 中国雲南省フェスティバル (仮称)



写真は2018年雲南少数民族文化展の様子

この度、雲南省駐日本商務代表処と日本雲南聯誼協会が共同で雲南省総合展「中国雲南省フェスティバル」を開催致します。

このフェスティバルは雲南省の雄大な大自然、雲南省ならではの特産品、そして貴重な少数民族の文化など、これまでに知られていない雲南省の姿を、多くの方に理解していただくことを目的として開催致します。また、日雲の若者同士の相互理



イベントでは、少数民族ファッションショーや舞踊も披露

解を深めるための、青少年交流セッションを設け、雲南と日本の大学生の文化理解、テーマごとの交流会等を予定しております。さらに、22年間にわたる協会の貧困少数民族地域での教育支援活動のご紹介など、より多くの方々へ、教育を受ける機会を失った子供たちの支援活動をご紹介する展示も行います。フェスティバル会期中のイベントでは、少数民族ファッションショーや、少数民族舞



雲南省の貴重な写真や協会の歴史を展示

踊の披露も行われるなど、楽しいイベントも用意していますので、是非皆様お誘いあわせの上、お越しいただくよう心よりお待ちしております。

### 中国雲南省フェスティバル 開催情報

- 開催期間: 2022年7月20日 (水) ~ 29日 (金)
  - 会場: 中国文化センター (最寄り駅・虎ノ門ヒルズ駅徒歩3分)
  - 実行委員会事務局: 認定NPO法人日本雲南聯誼協会
  - 電話: 03-5206-5260 (平日10時~17時)
- \*詳細は協会公式HP等でお知らせします。

### 会員募集 & 会費納入のお願い

#### ひろげよう支援の輪 新規会員募集中

1か月500円からできる教育支援  
雲南少数民族の子どもたちに豊かな未来を!  
協会を応援して下さる会員を募集します

日本雲南聯誼協会は2000年の設立以来、雲南省の少数民族児童への教育支援を行っています。協力していただける個人、企業、団体の会員を随時募集しています。

正会員	一口 6,000円 (500円/月)
賛助会員	一口 12,000円 (1,000円/月)
法人会員	一口 18,000円 (1,500円/月)

\*法人会員は3口以上でお願いします

\*正会員と法人会員には総会での議決権があります。賛助会員に議決権はありませんが、賛助会費は寄付金控除の対象となります。

\*4月1日から3月31日までを1年度とします。  
\*年度途中でご入会の場合、初年度の会費は入会月から年度末(3月)まで月割で計算します。

会員には会員証を発行し、会報『彩雲の南』、メール通信をお送りいたします。

### 認定NPO法人日本雲南聯誼協会への ご寄付は寄付金控除の対象となります

協会では随時、皆様からのご寄付を受け付けています。

ご寄付は雲南少数民族への教育支援、協会運営のために大切に使用させていただきます。当協会は東京都より認定を受けた「認定NPO法人」です。認定NPO法人への寄付は税制優遇 (寄付控除) が受けられます。

\*法人の場合、一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で、損金として算入できます。詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

#### ①銀行振込

三菱UFJ銀行 目黒駅前支店 普通 1300380  
特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会  
(トクエイリカクドウカクガクジニョクノクナルンキキョウカイ)

#### ②郵便振替

振替口座 00100-8-610935  
加入者名 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会  
\* 振込手数料はご負担いただけますようお願いいたします。

#### ③クレジットカード払い

クレジットカードでのご寄付をご希望の方は寄付のプラットフォーム「Syncable(シンカプル)」の「日本雲南聯誼協会」のページよりお願いいたします。

「シンカプル 日本雲南聯誼協会」と検索していただいてもできます。

\* Syncable からのご寄付も税額控除の対象となります。詳細は下記、協会公式HPをご覧ください。

#### 正会員・法人会員・賛助会員の皆さま

4月初めに2022年度の会費ご請求書を郵送しました。お早めにご納入いただけますようお願い申し上げます。

協会は皆さまからの会費・ご寄付により運営されています。ご理解のほど、よろしくお願いたします。

#### 新規会員ご紹介 (2022年1月~5月ご入会順、敬称略)

【正会員】 李謨煒、劉晶、李瑞芳、丁嵐、李玲艶

【法人会員】 中国雲南酒膳坊「過橋米線」、株式会社アジア太平洋観光社

【「25の小さな夢基金」里親サポーター】 吳秀峰、大島美湖、湯浅麗娟、難波美雪

## イベント情報

### ■昆明でJAPAN FESTIVAL開催(予定)

日時: 2022年7月~8月 (二日間以上予定)  
場所: 昆明市の繁華街  
(予定: 同徳広場、南屏步行街等)

詳細: 日中の企業(旅行、自動車、食品、日常雑貨等)30~50社が集まり、民間文化、ビジネス、および貿易の交流活動を行います。主に民間文化交流、中日飲食文化と試食会に伴う営業促進、中日間の旅行広報、オンラインにおけるバーチャル観光、中日民間舞踊披露、小学生向けの自動車科学技術体験など楽しいコンテンツを予定しております。詳細の日程が決まりましたら、協会公式HP、会報誌等にお知らせいたします。

### ■「25の小さな夢基金」昆明市女子中学×愛知県立津島高校オンライン交流会

日時: 毎月 (予定)  
場所: 昆明市女子中学、愛知県立津島高等学校、日本雲南聯誼協会東京本部  
今年も春蕾生と津島高校の2-3年生をオンラインつなぎ交流会を行います。

### 協会イベントに関するお問い合わせ

東京本部事務局  
TEL. 03-5206-5260 (平日10~17時)  
✉ yunnan@jyfa.org

## イベントご報告

### 令和4年度 第1回理事会及び役員顧問会

今年度初となる理事会及び役員・顧問会が下記の通り行われました。新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきたので、今回は対面のみでの開催となりました。お忙しいところ、ご参加いただきました役員・顧問の皆さま、ありがとうございました。

日時: 令和4年5月20日 (金)  
場所: 株式会社技術評論社1階 会議室

【議案】 第22回定時総会議案書、日本雲南聯誼協会日中青年部発足について審議を行い、全て原案通り承認されました。

## 「彩雲の南」へのご意見 ご提案をお待ちしています

皆さんにもっと楽しんでいただける『彩雲の南』をつくっていきたく思いますので、ご意見・ご提案をお願いいたします。

特にデザインやレイアウトに対するご意見や各コーナーのご提案をいただけますと幸いです。お気軽にお寄せください。

〒162-0846 東京都新宿区西谷内町21-13 1階  
認定NPO法人日本雲南聯誼協会  
東京本部事務局  
✉ yunnan@jyfa.org  
までお送り下さい

## 編集後記

今春大学院に入学し、中国語の勉強をやり直しています。大学卒業以来、実に35年ぶりのキャンパスライフです。日中翻訳の仕事をしているので、もう少し何とかなると思っていましたが甘かった。山のような宿題に頭を抱える毎日です。今回、協会の会報担当も中国人スタッフになりました。事務所にいる中国人スタッフの日本語を聞けば、どれほど努力してきたか想像できます。中国語の編集作業も引き受けられるよう、謙虚に勉強しようと思います。(編集長・木本一彰)

お問い合わせ・お申し込みは.....<http://www.jyfa.org>